



2月のえんだより

杜こども園 たかせ

電話 64-0215

携帯 090-7411-0215

H30.1.30 発行

先週の雪で大喜びの子どもたち。雪だるまやゆきがっせんで楽しむ以上児さん、雪をそっと触って手をひっこめた未満児さん。それぞれに冬ならではの遊びを楽しんでいました。増築中の園舎の屋根は白い帽子をかぶったみたいで可愛かったです。



保育目標



落ち着きのある集団生活を楽しむ

クラス目標

- 《ぞう》就学へ期待を持ち、見通しや目標を持って意欲的に生活する
- 《ぱんだ》友達や異年齢児とのつながりを広げあそぶことをたのしむ
- 《うさぎ》冬ならではの自然にふれ、不思議さやおもしろさを感じる
- 《こあら》冬の自然に触れあいながら戸外で十分に遊ぶ
- 《りす》友だちや保育教諭と関わりながらいろいろな遊びを楽しむ
- 《ひよこ》天気の良い日は外に出て体を動かしたり冬の自然現象に興味を持つ



園長コラム



感謝

「こども園になったから教育をするのですか？」保護者の方から最近よくいただく質問です。そのたびに、幼児教育について、よく勉強し保護者の皆様にご説明する機会を設けなければと思っていました。幼児教育を一言で表すとすれば「望ましい未来を作り出す力の基礎を培う」ことです。これは今までの保育所保育指針にも表記されておりますが、ここが難しいところで、子どもたちが大人として最も活躍する20、30年後の世の中を予想し、そこで幸せに生きられるための力の基礎とはどんな力なのかを想定しなければなりません。漠然としていますね。これについては、今の保育教育の考えでは以下のように「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」として説明しています。

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性*1 ④道徳性・規範意識 ⑤社会生活とのかかわり ⑥思考力の芽生え⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等の関心・感覚*2 ⑨言語による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

*1（心と力を合わせ事にあたること）*2（興味を持ち、対象がなんであるか認識できる）

項目ごとに色々深い解釈が必要になりますが、概ね、上記が幼児教育で目指すところとなっております。もちろん遊びや生活の中で学ぶ教育ですよね。

さあ、この事について職員一同はもとより保護者の皆様にもお願いし、足並みをそろえ、幼児教育を進めていかなければなりません。ご理解ご協力をお願いいたします。

[1月の感謝]

どんど焼き 今年も、原優羽ちゃん、健成くんのおじいちゃんが、まゆ玉の木をたくさん持ってきてくれました。おかげでたくさんお団子を食べられました。ありがとうございました。

園長 今井秀典

2月の予定

2日 節分

2日は節分です。今年も無病息災を願って豆まきをします。高瀬山の鬼？と、ぞう組鬼が各クラスを回ります。子ども達が作ったお面を持ち帰りますのでお家でも是非豆まきしてみてください。



6日 ぱんだ組マナー教室



6日はぱんだ組のマナー教室でホテル・アミューズに行きます。ランチをいただきながら、ナイフとフォークの使い方や食事のマナーを教えてください。

7日 如月運動会

7日は鏡泉苑の如月運動会で、ぱんだ組が園の代表で参加します。おじいさん、おばあさんと一緒に楽しく風船割り競技など行ってきます。名札を忘れずにつけてきてください。



15日 涅槃会



2月15日はお釈迦様がお亡くなりになった日で涅槃会といえます。この日はぞう組と、ぱんだ組が光厳寺に行き涅槃の行事に参加します。園服、名札を忘れずをお願いします。

17日 保育参観



17日は保育参観です。登園後、各クラスでの活動を見ていただき、後半はホールにてハーモニカ奏者のコリーさんの演奏やバルーンアートで楽しんでもらいたいです。

21日 誕生会

27日 卒園旅行

20日は延期になっていた、ぞう組親子クッキングです。この日はぱんだ組以下のクラスはおべんとうになりますので宜しくお願いします。(ひよこ組は給食が出ます)

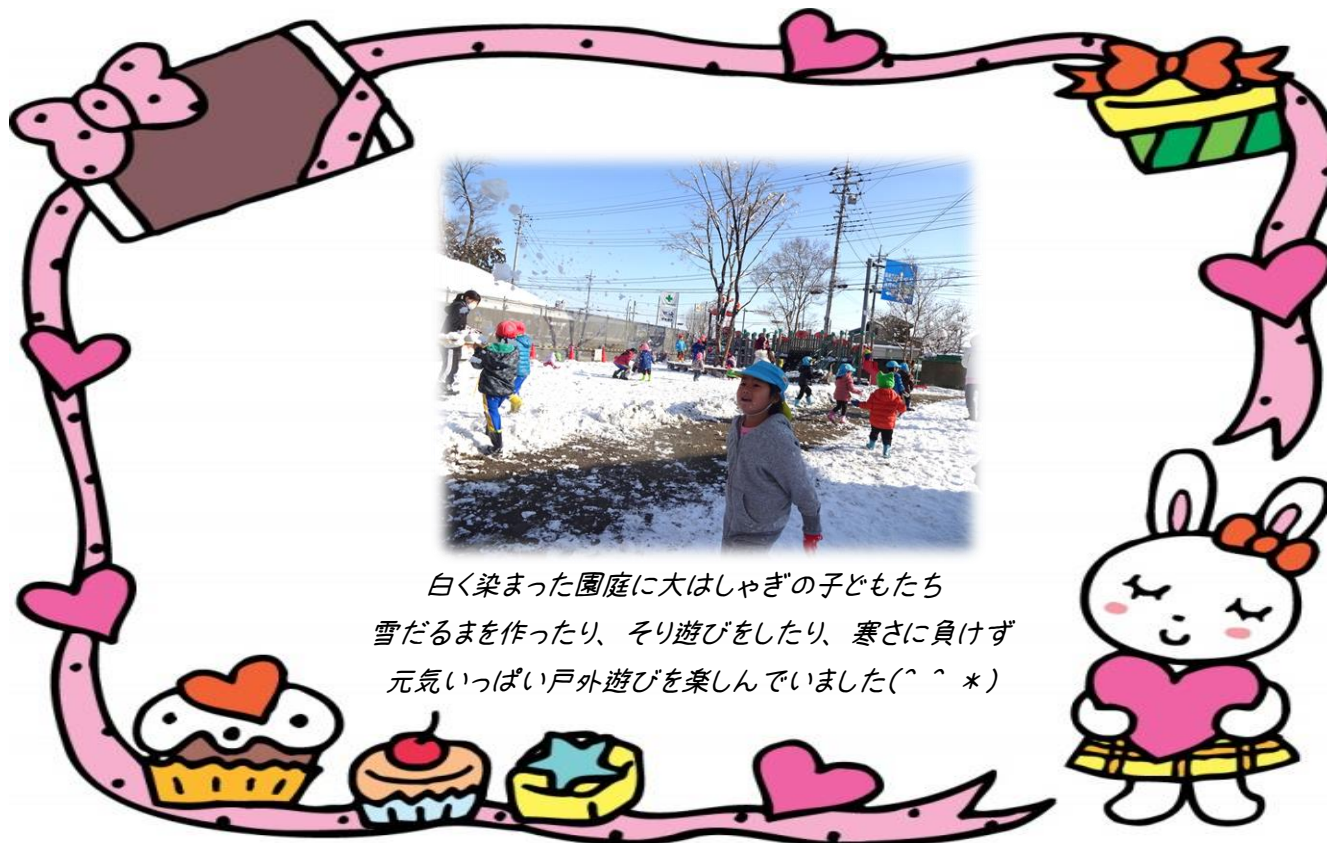


28日 避難訓練

毎週水曜日 英会話教室



27日はぞう組の卒園旅行で、佐久パラダスキー場へそり遊びに行ってきます。持ち物等が沢山あるので確認しておいてください。



白く染まった園庭に大はしゃぎの子どもたち
雪だるまを作ったり、そり遊びをしたり、寒さに負けず
元気いっぱい戶外遊びを楽しんでいました(^ ^ *)